情袋数区载

E-MAIL: paper@bingo.gr.jp

発行所

〒 720-0052 福山市東町 2-4-5 本願寺備後会館内 教区報専門委員会 TEL (084) 924-5759 FAX (084) 931-9323

発行人

教務所長 高田英彦

局田英彦主管

(教務所長) 導師のもと営ま

えした勝如上人の御影を左脇壇に奉懸し、修されました。法要はこのたび新たに御迎後会館において七月二日午後二時より勤

寺第二十三代勝如上人(前門さま)

忌法要並びに御影御迎え法要が、

本願寺備の三回

勝如上人三回总法惡勤修



せていただきました。 人のご遺徳を偲びながらご法縁にあわさ、当日は教区内より多数の参拝があり、上よりご法話をいただきました。 法要に引き続き、本願寺の安部恵証部長れました。

第五十回中·四国仏婦大会開催

の参加をいただき、 きよう~をテーマに、 仏教婦人会大会が開催されまし 県早島町)を会場にして中・四国 受けのもと、 **盛況に執り行われました。** 第五十回にあたる今大会は総裁大谷 八月三十日 聞」いのちみつめて~ともに生 随行長 不二川公勝総長をお招き 水(コンベックス岡山(岡 当備後教区 有意義ななかに 総数四九三〇名 の 引き 地

(2~4ページに特集記事)



ご意見・ご要望は paper@bingo.gr.jp へ!

生きよう~と掲げました。

大会開催に当り、

その他各方 教区内寺院

まことに

聞」いのちみつめて~ともに

会を結成して頂き、

テーマを

昨年十月に大会実行委員

心区仏教婦人会大会を迎えるに記念すべき第五十回中・四国

厚く御礼申し上げます。

有り難うございました。 面からご協賛を賜り、 並びに仏婦単位会、

仏第 玉





大会は、気温と同様に刻々とられず、晴天の下迎えられた梅雨で心配された雨にも降 上がる参加者の熱気と共に開



寺族婦人の結集と婦人会員ニ寺藤井文子坊守様の調声に、り伝供が行われ、深津組専光開会式では、婦人会員によ 百三十名のコーラスが合わせ ました。

教区仏教婦人会活動が益々

この大会を機縁として

ますよう願っています。

裹に終了させて頂きました。

)協力によってお陰さまで盛会大会当日は多勢のスタッフの

心より感謝申し上げます。

指導いただき、

準備出来たこと

生の指示と各部門の先生方にご

役員は戸惑いながらも、

法正先

心に響く大会になるよう仏婦

Ŋ 大会にご臨席頂いた総裁様楽法要がお勤めされた後、 て 続く記念講演では、 お言葉を頂きました。 加者と共に 2重誓偈 人会 様よ の 本音

教区スタッフ手作りの 生よりお話を頂きました。 総連盟講師である清岡隆文先 昼食を挟んで、午後からは各席に配布されたお弁当で

送りしました。 朗らかな歌声に合わせ の懐かしい映像と参加者のンチのスクリーンいっぱい 五十年の歴 と音楽で振り返る仏 四百イ 婦大会

会委員長をパネラーとして・清水先生・有光千津子大行先生を司会に、清岡先生御調西組法泉寺住職小島照先生がら問題提起を頂き、 よう~』にそって「いのちのちみつめて~ともに生き会テーマである『「聞」い会テーマで各先生より、大 見が出されました。 座談会を行いました。 を考えるさまざまなご この内容を受け Ć

が円満に幕を閉じました。思いで迎えた一大イベント区へ大会旗を手渡し、熱い られました。引き続いて不法人「本願寺白光荘」に送あり、その全てが更生保護られたダーナ募金の報告がられたダーナ募金の報告が開会式では大会中に集め 最後に来年担当の四州教一川公勝総長の挨拶を頂き













より、ご当地に赴任させて

この度七月に、

福岡教区

頂きました。福井に生まれ

方々とのお出会い、皆様の山・福岡へと転任、多くのご本山や、京都・四州・富

見ますと、

核家族化や世代

さて、今日の社会情勢を

備後教区教務所長 本願寺備後会館主管 高田田 〕英彦



仏のお心を伝えることは難子や孫に、形なくしてお念きたい。その理由は、現代のんに、ご本尊を持たせて頂人暮しの子供さんやお孫さ う旨お示し頂きました。 しいからであります」とい

を考えてのことであります。ず次代を担う青少年の育成幼少年教化は、取りも直さいの実施を進めております。 寺院を対象にサマースクー幼少年教化の一貫として全は今年度から全教区を上げ、 このこともあり、 教区におきましても、こ 宗門で

運動をはじめ、教区活動の伝達、支援等をはかり、基幹ると共に、ご寺院への情報のような活動の推進をはか たいと存じます。皆様には一層の発展に微力を尽くし ご協力の程お願 い申し上げ、 皆様には

短

の様子を、直に拝見させて じめご門徒の皆様のご活躍

する機会も多く、ご住職は

その間、ご寺院にお伺い

てを賜ったことであります。

こ支援・ご協力のもとお育

頂く機会ができましたこと

非常に有難いことであ

そのものが変わりつつあ

交代が進み、

社会の

しくみ

ごだ挨 拶

本願寺鷺森別院輪番和歌山教区教務所長前本願寺備後会館主管 前備後教区教務所長 佐々木 孝昭

をもちまして備後教区よりす。このたび、七月一日付けのこととお慶び申し上げまおかれましては愈々ご清祥おかれましては愈々ご清祥のを、 皆様に た。 院輪番として転任致しまし 和歌山教区教務所長・鷺森別

ご協力をいただき努めさせ り御礼を申し上げます。 ていただきましたこと、 の様々な課題への対応、 ましたが、みなさまのご指導 いとも言える期間であり 在任中は基幹運動推進 満四年という長くもあり 心よ 将来

> をおかけしたことでございおいて皆様には種々ご心労を検討する取り組み等々に目途とした賦課制度の改定への財政基盤の整備確立を ます。

ているのではないでしょう立ち向かうことが求められ団体が連携しつつ諸課題にべての僧侶・門信徒・各教化ちは基幹運動の名のもと、す り組みとご理解をいただき織の再整備また構築への取て各寺院の将来に向けて組の基盤である教団、教区そし たく存じます。 そのような中で運動推進 代社会に おい て、

がこれからも宗門の発展導を胸に、微力ではありま ご指導ご鞭撻賜りたくよろ ますので何卒変わりませず ため尽力いたす所 しくお願い申し上げます。 を胸に、微力ではあります皆様より賜りましたご教 存であり の

ありますが紙面をお借りしご挨拶申し上げるところで 儀ながら転任のご挨拶と 皆様には拝眉のうえ、

とうございました。

ております。

正に向けて種々検討をい された護持口数の不公平感是

頼するため、また三十年間放置一七、〇七〇口数を、各組へ依ありました教区目標護持口数会においては、本山より依頼の

を二回開催いたしました。委員 まで全体委員会二回、小委員会 本年四月区令が発布され、現在

護持

口数調整委員会報告

季平恵海

よりご報告を賜り、誠にありがせて頂きましたところ、全寺院 つきまして、再度のご依頼をさ 賦課基準等調整委員 本年一月に門徒戸数報告に 会報

えているところです。 思い直していただければと考 張って歩けるぞ」という思いに のことについては「正直者が胸 ただ、「正直者が損をする」と て、教区賦課基準の試案作成に た門徒戸数等を参考資料とし においてご報告いただきまし いう思いも払拭できません。こ つとめている状況であります 旦り開催し、現在、常任委員会 賦課基準等調整委員会委員長 その後各種委員会を数回

総参拝でありました。 システムにしていただきた て熱心に協議をいたし、また忌に向けての諸問題につい いとの要望も伝え、実りある 宗門として助言・対応できる した賦課制度の見直し、 総局と協議会を開催しまし 御影堂修復工事現場を見学 会議員の本山参拝を実施、 教区会本山参拝報告 般寺院の諸問題について 七月十四日、 特に、 午後三時より宗務所にて 総御堂でおつとめの後、 護持口数を中心と 備後教区教区 大遠

総長室にて総長と

仏教婦. 人会総会 -研 修会

かれて」~われら共に生きん~講 題「大いなるいのちにいだ 講場日 師所 時 本教区阿蘇組 「大いなるいのちにいだ後藤法龍先生 本願寺備後会館四月十三日(火) 仏婦総連盟講師 東照寺 火

会報告、午後からは先生より基午前は総会・若婦人中央研修 修会が行われました。 十六年度の仏教婦人会総会・研三〇一名の参加のもと、平成

調講演をいただきました。

会、午後からは先生より基調講 修会が行われました。午前は総 演をいただきました。

寺族婦人会若婦 人研修会

講場日 講 題 時 ~寺院教化活動のすすめ~ 長念寺 「お寺ってなんだろう」 深津組 新潟教区 三条組 四月二十六日(月 山之内浩乗先生 光善寺

午後は、 山之内先生よりゲームを含めた 楽しい研修会でした。 モリーズ、 より行っていただきました。 仏教讃歌の指導をボー 並びに藤井文子先生

十名の参加のもと、

午前

は

寺族婦· 人会総会 -研 会

講 講場日 題 師所時 東京教区 本願寺備後会館 「お寺へ行こうよ、 六月三日 教覚寺 南荘乘宏先生 **金** 静岡西組

ほとけの子

十六年度の寺族婦人会総会・研八十五名の参加のもと、平成 ~今お寺でできること~



いただきました。

十名以上のお同行にお参りを

二日目、夏期布教大会は七

午 前

真澄 慎一 師

栗原

一乗師

(世羅組・

善行寺)

義円 師

(奥組・

浄福寺)

布教大会を開催するにあたり参詣奨励のご協力

を頂きました事心より厚く御礼申し上げます。

(世羅組

浄楽寺)

夏期布教大会出講者(出講順)

平山

義隆師

深津組

光栄寺)

(三次組

源光寺)

午後

箱田

福間 玄猷 師

(沼隈南組・ 義信師

西光寺)

夏期布教大会・研修会並びに

いて、一日(火)、 からは研修会が行われ、 輪番 豊原大成先生をお迎えし 師に浄土真宗本願寺派元総 研修会、二日目には夏期布教 でご講義をいただきました。 長・宗会議員 本願寺津村別院 大会が開催されました。 『釈尊のご生涯』という題名 六月二十一日(月)~二十二 日目の午前は総会、 一日目に布教団総会・)、本願寺備後会館にお ご講 午後

別布教大会が開催されました。

特別布教大会出講者 (出講順 藤間 幹夫 師

長谷川憲章 師 (深津組・光明寺)

旅行代金

五一、000円

B

九月十七日(金)~十八日(土)

(三谿組・ 昭道師 善徳寺)

義見 師

(鴨川北組・ 円福寺

別布教

皆様にお参りを頂きました。 朝早くから百名以上の婦人会の において、布教団主催による特 六月二十七日(日)三次組源光寺

椙 (備中里組・ (神石組・光徳寺) 英俊 師 大円寺

午後

半 奥組・浄福寺

会

参拝団募集のご案内千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 予觀 0

申込方法 詳細は後日参加者の方へお知らせいたします。 別紙申込書に記入の上、お申し込み下さい。

申込締切 八月三十日(月)

お一人でも多くの方々にお誘い合わせ頂きご参加 くださいますようご案内申し上げます。 今年度も例年のごとく企画いたしておりますので

師時 第十回記念備後教区平和のつどい 十日(水) 哲先生

講日

「平和を築く道~アフガン支援に学ぶ」 くい文化センター (御調郡久井町 、000円 (ペシャワール会医療サービス) 院長ペシャワール会現地代表・PMS

つどいを企画いたしております。 つの節目として基推並びに関係役職者で実りある 何卒ご参加の程よろしくお願い申し上げます。 今年で10回目を迎える「平和のつどい」・・・

ご意見・ご要望は paper@bingo.gr.jp へ!

114 号							加用	仮	(字)	X L	¥	IX .			2004	(半)	或 16)	年7	月31日
鴨 川 北	鴨川			深 津	奥	奥	中	備中里	í	殳	芦苇	四十二年 三十二年 三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	山	柔			備後数		急
正 明 寺	福 泉 坊) 기 기	长	光 明 寺	泉瀧寺	教連寺	蓮通寺	高運寺			善持持	福 泉 坊	型 村 村	E P	ζ		備後教区寺族婦人会連盟		画体が役員の紹介
渡辺	季平		Z J	藤間	大塚皇	那須	三宅	塩田			是 L	高山	和力	Ē.			婦人会	(敬	為
篤子	智世	美		恭 子	大塚貴和子	閑 子	文子	洋 子		3	争 子 克	急					連盟	(敬称略)	祭
世:	仏青連	= {	中央委員	備後	世羅	世羅	御調西	御調東		— 御 調 東	三次	三次	比婆	三谿	神石		 芦 田	沼隈西	沼隈西
世羅組門	仏青連盟委員長	組		備後教区仏教青年会連盟	了安寺	善行寺	専光寺	光 材 寺		正典坊	浄圓寺	源光寺	徳了寺	照善坊	正光	- - -	光明寺	法蔵坊	堅中寺
円超 原田 徒	中 村	照善坊門徒		青年会	阿部千万子	真澄	藤井	箱田		近安	足利	福間	村上	福間			千葉	藤原	日照
蕉	道 明	1疋		連盟	万子	洋子	由里	紀子		美 順	悦 子	洋 子	聖 子	裕 子	千額	1 1 10	礼 子	美 保	律美
	御調東	三谿	神石	沼隈南	深津	深津	Ф	役	世羅	御調西	監	三谿	会	世羅	深津	副委員長	三谿	委員長	備
	大通寺	善徳寺	正善寺	南禅坊	慶満寺	光円寺	辻之坊	員	浄楽寺	法泉寺	査	明覚寺	計	照光寺	光明寺	長	照善坊	長	備後教区少年連
	大淵	長谷川	熊原	高階	松井	平山	杉原		栗原	小島		<u>不</u> 川		脇本	藤間		福間		少年
	英 範	憲章	得也	百寿	昭	智正	顕正		— 乗	照行		川公哉		寿真	幹 夫		真也		連盟
	Ξ	世	御	比	Ξ	芦	深	彸		į	= =	監	世	御調東	副	Ξ	Ξ #	3	備
			調					1X				_					2	±	
	次	羅	御調西			⊞	津	員・		Æ		事	羅			7	マ事		後数
	次西善坊	羅西教寺	調西 法泉寺			田光明寺	津真光寺	役員・理事		出		事	羅			が世事切	双三克克		後教区仏教
				妙延寺	照善坊			2員・理事			尤 注 引 正 手 寺	了 事	羅		長	20 更多均 产日	_	土は中国マーベスが次回で	備後教区仏教壮年会連盟

仏壇 页 歴史について

民家のことではなく役所をさし、 とに始まると言われています。 書紀巻二十九) と詔を出されたこ 置し以て三宝を供養すべし」(日本 に仏舎を設け、仏像及び経文を安 (六八五年)、天武天皇が「諸国家毎仏壇の起源は白鳳十四年三月 しかし一説にはここでいう家は

とし、仏像を安置できたのは一部ようです。ただし、家の一室を仏間 国分寺の起源との見方もあります。 の人で、一般民衆の多くは仏閣に 間をば仏所に定め」という一文も 既に「仏壇」という語が出てきます。 本最古の辞典『伊呂波字類鈔』には 諸国の役所に仏舎を建てよという の壁や柱に貼り付けて礼拝してい 参って紙に摺った仏像を請い、家 安置して礼拝供養する人もあった みえるように、家の一室に仏像を 『平家物語』に「御庵室を結んで一 ですが平安時代に編集された日

は乏しいのですが、原型となるには乏しいのですが、原型となるには乏しいのですが、原型となるには乏しいのですが、原型となるには乏しいのですが、原型となる います。ただ、現存の仏壇は近世江現在も一族持ち回りで管理されて 江戸時代に徳川幕府がキリシタン家々に置かれるようになったのは、 日野町歯黒氏一族に伝えられてい称される仏壇形式の厨子が滋賀県 うになりました。十代証如上人の 礼拝し、信心をたしかめあったよ 設けてからといえます。 弾圧、民衆統制のため檀家制度を 戸時代のもので当時の仏壇を知る 如上人の頃と認められるもので、 ます。絵像は裏書を欠くものの、蓮 られています。また「動く道場」と 頃(一五二六~五四)の本尊も認め 小型の絵像本尊の下付を受けるよ うです。こうした在り方が次第に 下付されており、これを奉懸して 本願寺より

どの家にも置かれるようになりまこのような歴史があり、仏壇は を合わす姿を通して…。 ではないでしょうか。念仏申し、手 言葉以上に伝えてきたのがお仏壇 活が阿弥陀様とともにあることを ません。よろこび、悲しみの日常生 現在は仏壇のない家も少なくあり 活の中心に位置してきましたが、 した。以後、仏壇(ご本尊) は家庭生

式が確立された室町時代には、

三具

ました。そして、書院造りの建築様

足をかざるようになりました。 の間に仏画や名号をかけて、

浄土真宗においては八代蓮如

勉強会 練習会 その 教化活動 和讃の会 その他

会、婦人会活動、合唱団など・・)をお ばと思っています!」 内にとどまらずご縁をいただけれ 知らせするコーナーです。備後教区 はあらゆる分野の教化活動 (勉強 お届けいたします!「みのりのわ」 今号より新連載「みのりのわ」を

|和讃の会』分野―勉強会

発足。現在会員は八名。会場は会 度は深津組法真寺様でした。 員の皆さまの持ち回りで、この 会』という勉強会です。平成七年 勉強方法―親鸞聖人の和讃の 今回お届けするのは『和讃の

繰り読みです。まず代表者が和

讃を一首二回唱和します。

そうです。 うというやり方です。特に味わ それぞれの思いのままに語り合 ようにして、 人の味わいを大切にされている いについて「答えを出さない!」 そして、それぞれの味わいを、 なによりも一人一

んのコメント) 『和讃の会』のいい所(会員さ

から門徒中の道場に絵像や名号が

もともと『和讃の会』の発足 年齢の幅が広いので色ん 好きなことを言える。 予習・復習をしなくてい 視点に気付く

的が「お聖教 (註釈版聖典) を

何い

かに開くか!」だったそうで、

という法話集を出版。今後、十年 年近くも仲間と聖典を開くご縁 をいただいていることだと皆さ よりもこの会の良いところは十 ん口を揃えておっしゃってい 昨年は『本願力にあひぬれば』 ŧ

(記者礼―おそばおいしかったです)

成の予定だそうです。

の区切りへ向けて大論文集を作



色んな活動募集!宛先はこちら

には沼隈南組

南禅坊

高階百壽

さんが選ばれました。

芦田組 慶照寺 田坂蘭子さん

試合後、両チ

優勝は芦田組で、

M ソ P に は

(写真ピッチャー) 、最優秀投手

第14回備後教区 ボ 開催される

とともに、 の掛け声や、子どもの打球を捕 大会が開催されました。 四月一日(木)、 「打た『れ』て行くぞー! 御調町の県立

催による備後教区ソフトボール ふれあいの里において、備龍会主 見られました。 下で和気あいあいと楽しむ姿が た時の「おに~!」という野次 老若男女の区別なく青空の 七十名以上の参加者 つ

行われました。昨年の全国寺青球部JETAとの交流試合が区、備龍会野球部と福岡教区野 今回の再戦が実現しました。 野球大会、二回戦で顔を合わせ 市総合公園グランドで備後教去る七月六日、福岡県大野城 に今後とも交流がもてればと た両チームでしたが、これを縁

戦を誓い合い福岡を後にしま ましたが、秋の全国大会での再 :教区の青年僧侶の交流を深 二試合行い、一勝一敗であり ていきたいと思います。 今後とも野球を通じて

両

高校サッカー部に、サッカー本願寺派宗門校である黎明 した式典に続き、 四月十八日に、 用グランド が完成しまし (笠岡市み た。 オープニン 完成を記 の

の活躍が楽しみです。

今後の黎明高校サッ

カー

部

体、全国高校選手権二冠を制グゲームで昨年度の高校総

と対戦しました。

した強豪・国見高校(長崎県)

ました。しかし、黎明高校三ましたが、結局〇対1で敗れた。終了間際、黎明高校は連た。終了間際、黎明高校は連た。終了間際、黎明高校は連から国見が過ぎ、サイド攻撃から国見がして、集中力を切らさず懸命にい、集中力を切らさず懸命に 後頑張っていきたい。 通用した。この自信を胸に今 か自分たちのプレーが国見に 試合は終始、 してくれました。 三十五分ハーフで行わ 黎明高校は声を掛 石橋大介主将は「いくつ 仪は声を掛ける 国見高校のペー

ムそろって記念撮影

一年目で、 今年から選手寮を新設し、 黎明高校サッカー 部員数二十六人。 部は





を受け入れるなど強化に力を韓国の高校から留学生二選手 入れています。

自己を映し出す鏡を失うと、 人間は限りなく傲慢になる

人は死ぬということを知っているが、 自分が死ぬというときになると驚く

皆さんの心に響いた言葉を敖務所までお寄せください





5月

- 6日 ブロック少年連盟連絡協議会(山口)
- 6日 賦課基準等調整委員会
- 6日 仏婦大会実行委員会
- 6日 教区勤式練習会
- 7日 ビハーラ役員会
- 6日 仏婦大会出版物打ち合わせ
- 10 日 護持□数調整委員会
- 10 日 門徒総代会世話人会
- 11日 会館常例法座(平山静暁師)
- 6日 寺婦三役会
- 12 日 ブロック保育連盟連絡協議会(山口)
- 13 日 基推総会・研修会
- 14 日 布教団役員会
- 14 日 仏婦大会印刷·記録部門会議 15日 若婦専門委員会(ほほえみの会)
- 17日 保育連盟全体協議会
- 18 日 仏婦大会コーラス練習会
- 21 日 仏婦大会物品販売·昼食部門会議
- 25 日 少年連盟役員会
- 27 日 寺婦役員会 27 日 仏婦大会行事部門会議
- 28 日 仏婦大会実行委員会
- 31 日 賦課基準等調整小委員会
- 31 日 仏婦大会部門別連絡会

6月 1日 仏婦大会部門別連絡会 2日 仏婦大会物品販売・弁当部門会議

- 2日 護持口数調整小委員会
- 寺婦総会・研修会 3 ⊟ 3日 少年教化推進専門委員会
- 3 日 仏婦大会部長会議
- 4日 仏婦大会仏華会議
- 4日 教区勤式練習会
- 5日 仏婦大会コーラス全体練習会
- 7日 同朋三者懇話会
- 9日 賦課基準等作業部会
- 10 日 仏婦大会印刷記録部門会議
- 11日 会館常例法座(吉岡隆義師)
- 11 日 仏婦大会部長会議
- 12 日 賦課基準等作業部会
- 14 日 仏婦大会実行委員会
- 15 日 仏婦大会寺院スタッフ説明会 15 日 サマースクール実動班会合
- 15 日 護持口数調整小委員会
- 17 日 賦課基準等調整小委員会
- 18日 会館責役・総代会
 - 仏婦大会コーラス全体練習会

- 21 日 布教団総会・研修会
- 22 日 夏期布教大会
- 仏婦大会全スタッフ説明会・大会資料詰め
- 24 ⊟ 25 日 少年教化推進専門委員会
- 27 日 特別布教大会 (三次組源光寺)
- 28日 会館責役・総代会
- 29日 第50回中四国ブロック仏婦大会レセプション
- 30日 第50回中四国ブロック仏婦大会

7月

- 2 日 勝如上人三回忌法要
- 2日 仏婦大会慰労会
- 3 ⊟ ブロック仏青連絡協議会 (安芸)
- 5日 賦課基準等調整常任委員会
- 8日 ビハーラ総会・公開講座
- 9日 教区勤式練習会
- 10日 若婦専門委員会 (ほほえみの会)
- 11 🖯 会館常例法座 (箱田義信師)
- 12 日 門推世話人会・基推第三部会
- 12日 教区報専門委員会
- 基推正副委員長会議 12 FI
- 13日 ブロック仏婦連絡協議会(安芸)
- 13 🖯 中四国所長・議長会同
- 14 日 教区会本山参拝 14 日 基推第一部会
- 15 日 少年連盟指導者研修会
- 15 日 サマースクール指導者養成研修会
- 実動班会合 // 15 ⊟
- 16 日 護持口数調整委員会
- 仏婦大会印刷・記録部門会議 組勤式推進員・特法協議会 21 FI 22 FI
- 22 日 教区勤式研修会
- 23 ⊟ 護持口数調整小委員会
- 24 日 連区仏壮連絡協議会(山口)
- 27 日 仏婦役員会
- 29日 まことの保育大学講座(山口) 30 日 常備会

8月

- 11 日 会館常例法座(高田英彦師)
- 12日 会館休館日 (16日まで)
- 29 日 仏壮夏期研修会(御調西・光徳寺)

9月

- 3日 同朋三者懇話会(広島)
- 5日 若婦専門委員会(ほほえみの会)
- 6日 組織教化活性化専門委員会
- 連区布教使研修会(山口) 8 日
- 10 日 教区勤式練習会
- 11 日 会館常例法座(平山義文師)
- 11日 連区門徒推進員連絡協議会(安芸)
- 17日 千鳥ヶ淵法要団体参拝
- 29 日 連区青年布教使研修会(四州)

10 月

- 6日 連研のための研究会
- 8日 寺婦勉強会
- 8日 中四国寺青野球大会(四州)
- 8日 教区勤式練習会
- 11日 会館常例法座(佐藤知水師)
- 20日 平和のつどい

(平成十六年三月三十日付

和

敬

比

妙延寺

芦

慶照寺

裕樹

裕

樹

今年4月1日、下記の通り編入・合併

郵便番号・電話番号の変更はありま

せんが、古い住所での郵便配達はい

ずれできなくなりますので、住所録

府中市

三次市

等の変更のある方はご確認下さい。

英尊

英

尊

がございました。

【編入】 • 甲奴郡上下町

【合 併】 • 甲奴郡甲奴町 · 双三郡君田村

> 布野村 作木村

吉舎町 三良坂町 三和町

婆田田脇 坂 本

深

真光寺

真紀子

順

真

深

光行寺

(敬称略)

御調西 御調東 Ξ 世 御調西 世 得度 中 羅 大田垣 西王地 西王寺 西覚寺 正満寺 福善寺 法泉寺 芳照 ございきす!! ございきす!!

惠

航

芳

照

世

善行寺門徒

四月二十

日寂

門徒教区会議員

聖

行

沼隈南

勧正坊

(平成十五年十)

|月二十三日寂

義明

前住職

中山

正真

唯

恵

(平成十六年 二月二十七日付

友

樹

(六月十三日寂

也

(平成十六年 三月十五日付) 大

(平成十六年 五月十五日付) 深

敬

(敬称略)

衆 羅 徒 西教寺 安本

世

弔

し上げますお悔やみ申

(敬称略)

沼隈南組 御調東組

頂きました。

以上の方々より香典返礼を 様 様



それはそれは不思議な道順であ

い道は横断に利用するだけ・・・。 旧道メインの移動で、立派な新し

りました。

携帯電話が著しい普及をすると

平成という時代はパソコンと

言われていましたが、その勢い

は

お参りに出たことがありますが、

なったらしいのです。

一度一緒に

が変わった為、道順がわからなく 新しい道がついた事により景色

※君田村・布野村・作木村は三次市〇〇町に変更

ら……。 頃の、 もアナログ的に不思議に使って というと、デジタルなものを今日 無くてはならない存在です。私は 区報の編集作業にもパソコンは無くなってしまいました。この教 もう十三年か~」といったご縁は も年回の案内を手書きしてい いったところでしょうか。それでパソコンは、便利なワープロと 不似合いな取扱説明書のブ厚さ。 すね。携帯電話の大きさにどうも ているかどうかというと、無理で 「〇〇さんが亡くなられて 便利だな~と思いなが た

ます。

法務を前住に頼むことがあ が、前住は道がわからなく

なったと言います。というのは、

集後

ご意見・ご要望は paper@bingo.gr.jp へ!

なものでありますが、

使いこなし

これらは法務にもなかなか便利 とどまるどころか凄い勢いです。